

## 環境配慮パッケージ事例集の分類項目一覧

分類項目		定義
<b>A：リデュース</b> ＜材料投入量削減、他素材への代替によるプラスチック使用量削減＞	<b>A1：サイズ変更</b>	容器包装のサイズ（幅、高さなど）を小さくすることにより、プラスチック使用量を削減する。
	<b>A2：薄肉化</b>	容器包装の厚みを薄くする
	<b>A3：形状・形態変更</b>	詰め替え・付け替え用製品の上市やプリスターパックを窓付きの容器に変更するなどの形状・形態変更により、プラスチック使用量を削減する。
	<b>A4：パーツの削除</b>	容器包装を構成するパーツ、あるいは製品に貼付されているアイキャッチシールや付属のスプーン、ストロー、スパチュラ等を削除する
	<b>A5：材質変更</b>	複数の材質のプラスチックの積層や構成変更等により、プラスチック使用量を削減する
	<b>A6：素材変更</b>	他素材との複合化や構成の変更、他素材への変更等により、プラスチック使用量を削減する
<b>B：リユース</b> ＜リユース化＞	<b>回収・再充填・販売システム化</b>	再使用可能な専用容器に充填した製品を、使用後に回収・再充填・再使用する販売システムにする
<b>C：リサイクル</b> ＜リサイクル適性の向上＞	<b>C1：単一素材化</b>	容器包装、あるいは貼付、付属のパーツを単一素材化する
	<b>C2：分別容易性</b>	分離し易い、あるいは解体し易い等の構造にして、分別排出しやすくする
	<b>C3：減容化</b>	つぶししやすい、あるいは小さくしやすい等の構造にして、分別排出しやすくする
<b>D：Renewable</b> ＜再生可能資源の選択＞	<b>D1：再生素材の利用</b>	再生素材（マテリアルリサイクル材、ケミカルリサイクル材等）を原材料として利用し、従来品、同等品に比べてバージン材の使用量を削減
	<b>D2：バイオマスプラスチックの利用</b>	バイオマスプラスチックを原材料として利用し、従来品、同等品に比べて化石資源由来のプラスチック量を削減
	<b>D3：生分解性プラスチックの利用</b>	生分解性機能を活用した容器包装（コンポスト用等）として利用
	<b>D4：認証材の利用</b>	第三者認証された材料を利用
<b>E：環境負荷低減（LCA）</b>		ライフサイクルの各段階で、省エネルギー・水使用量削減・再生可能エネルギー使用、歩留まり向上等の環境負荷低減がなされている